

◎煮あへの拵方（とろかた）

大根をたんざくに切つて、湯煮しまして、胡麻みそ、生姜みそかたくつくりまして、大根の湯をすてまして、鍋へ右のみそを入れてあへます、

家庭に於ける所感（承前）

長野 飯塚忠次郎

又自分でこれは善良のものであると思ふてもよくよくぎんみして小兒に與へねばいけません、そして小兒がいくら菓子が好きだからとてむやみやたらにいゝなりほうだいに多くわたへないようになさいまし、よく体育の如何を考へて身体の營養にさまざまない害のない程度をみはからつてわたへぬといけません、御承知の如く小兒は何もかもむとんじやくに、たいむやみと多くたべたがりです

からそのへんの事柄は特に小兒さんをおもちのかたに御注意をねがいたいことで之も家内衛生の一端かと思ひます。

九) 幼兒と玩具

幼兒とは未だ學校に通はざるいとけなき兒童を指し示るので、今私のお話しせんとするは、重に幼兒についての玩具の事で御座います、切て幼兒と玩具とは甚だ密接な關係がありますから大に撰擇するの必要があるので、然るを世の人々は此様な事については御考へがうすいか淺いかそれはとにかく、工夫の巧なもの美しいもののみ買求めて幼兒にわたへよろこぶのを以て御満足としてゐられる、ブリキ製でわれ、ガラス製でわれ、なんでも幼兒のきにいるようなものを、買ひ求めてやるといふ風習があるように存じられます、幼兒

をよるこばし満足させるると云ふことは誠によいことでは御座いますけれども、其れで果して適切なる興へかたといふことができまじようか、近來玩具の製方の術も進歩しましてなかなか巧尙になつてまゐりましたようなものゝ、然しわらゆる多くの玩具の中でことさらに指してこれがよいと申すものは誠に僅少で御座います、稍々生長した小兒には多くは見受けませんが、幼兒は一般に何にかれの區別なく口のうちに入れます、はたでみますと何がそんなにうまいのかしらと思れますが、幼兒の身にとつてはさほどには感じませんから、母たる人は幼少の者には許めては害にならぬ毒にならぬものをよく撰擇せねばなりません、そうでないとけがをしたり身体にさわる事ができますから、とくにブリキやガラスでつくつたものは

四十八
 厳禁したいと思ひます、當時世間で發賣して居ります玩具はどうでしやう、巧なものもありまじやう、美麗なものもありまじやうが、名もしれぬ赤青と種々様々の彩色をしてかざりたてたものがありませんが、これらは一考をよすべく、ごく危険なる品物と思はれます、幼兒には一般に色のつかないものを興へるのがなにより一番よかるうかと存せられますたとへどれほど美しくつても毒になるものはさけねばなりません、如何程巧尙に出來てゐてもあぶないものはいけません、世間幾多の家庭の家人たるものは大いに其巧拙美醜はさてをき、まづ有害なりや無害なりやといふ點について大いに熟考せられて、幼者にわたへてもさげんでないどくでないこととめたるうへで買ひ求めてやつてほしいのであります、何もかんがへないで徒に

虚美虚飾に走つてはなりません、之れ主婦たる者
 家人たる者のもとに盡すべき當然のつとめと思ひ
 ます、それを世間の母親は幼児がやまつてけが
 でもすると「お前はなぜそんなものをもつてをわ
 すびだえ、それだからけがをするのですよ、之れ
 からは決してそのようなものをおもちゃにしては
 なりませんよ」と、幼児はたゞ「はい」といふて其さ
 づぐちへくすりを母親につけてもらうのが常であ
 るように思はれます。一寸きくと如何にも尤もな
 る事柄であるように思はれますが、よくよく推
 考していつたならばつまるところは皆な家庭の罪
 で御座います、買つてやつた人は勿論のこと、幼
 児がもてあそんでぬたときはたの者のかんとくが
 たらぬいからです、かくのごときこと世間の家庭
 ではまゝ行れてゐるので、親たる人家人たるもの

最も鑑みねばいけません、けがをしてから体を
 いためてから、あとでさわいだからとてをいつき
 ません、それは丁度盗賊をみてからなわをなうよ
 うなもので何のやくにもたちませんです、それゆ
 へ何事でも事の未だをこらざるまへに注意せねば
 なりません、即ち遠慮といふことが最も必要なこ
 とであります。

筆のついでに一寸ひとこと申したいたのが御座い
 ます、それは普通によくある事で幼児が金銭なぞ
 をおもちゃにしてどつかのはづみで呑みこんで、
 泣くやら背をたたくやらの悲劇を演ずることがな
 いともかぎりません、私は現に二三度ばかりそう
 ゆうことにでいました、これは母親の注意のた
 らざるの致すことで大に氣を付けていたいたいた
 のです、決して金銭にかぎらず危険の品物はそこ

らに置かぬようにせねばなりません、貨幣は只に
きけんなる品物なるのみならず、食の手からも病
人の手からもありとあらゆる人類の手から手へと
旅行してまわりますので、如何様な人の手から
来るかはかられませんから、誠にぶつそうせんば
んの品物であります、これによつてみても貨幣の
きたないことはあきらかたで、衛生の上からみても
おもちゃにさせてはいけなことはあきらかな次
第で御座います。(未完)

かゝる時こそ生命の惜しからめ

かねてなき身と思ひ知らずば

各宮妃殿下御歌

大日本歌道奨勵會が忠烈歌集を編纂して陸海軍
人に寄贈するの擧を聞召され兩内親王殿下及び各
宮妃殿下より下賜されたる軍事に關する御歌を得
たれば左に掲ぐ

常宮昌子内親王殿下

出征の兵士をみて

